



可部地区社会福祉協議会だより

# 福祉 あけぼの

## 133号

編集発行  
可部地区社会福祉協議会  
広報部会

印刷所 可部印刷(株)



1



2

昨年十一月、可部夢街道まちづくりの会と周辺町内会・自治会が主催した「可部のいつも通り」イベントに、令和四年十月二十四日、可部小学校の6年生の児童が総合的な学習の一環として「ミナまちめぐり」に参加しました。可部夢街道と名付けられた可部旧街道周辺地域の旧跡や歴史、見

## 可部小学校六年生 可部愛あふれる、 まちめぐり体験

所について、ボランティアガイドさんに説明を受け、興味津々の子どもたち。自分たちの暮らすまちを誇らしく語るボランティア・スタッフの皆さん。子どもたちのまちめぐりに、道案内や交通安全で協力してくださった地域の皆さん。可部愛あふれる秋の一日になりました。



3



4



5

1 2022「可部いつも通り」は、「日常を取り戻そう」が合い言葉。「可部のまちめぐり」「花の散歩道」などの企画で、可部の魅力を発信しました。

2 「可部街道まちづくりの会」のメインメンバー。向かって左から、持田静さん、叶谷史郎さん、貴船一樹さん。

3 4 5 出発は吹屋公園。6年生達は、1班8人程度の16班に分かれ、折り目から北コース、南コースに進み、道中のさまざまなポイントに立ち寄り地域の方から話を聞きました。

# 危なかつた! 可部のまち

もうすっかり忘れてしまったかもしれませんが、令和四年九月の台風14号の襲来時の実態を報告します。実は太田川は氾濫一步手前、最悪の場合、二〇一八年の西日本豪雨災害時の岡山県真備町の浸水被害の再来となるどころでした。毎年のように大雨、台風の被害が全国に多発している今、シーズンオフの今こそしっかりと備えについて考えたいものです。

九月十九日15時ごろの、太田川の様子。  
もとも水位が高かったのは13時ごろで、このとき水位は3メートルくらい下がっていたそうです。



令和四年九月十八日(日)から十九日(月)にかけて、大型台風14号が九州から西日本を直撃、瞬間的には50メートルを超える風、降水量も宮崎で1000ミリを超えるほどの雨を降らせました。もちろん広島県も暴風圏に入り、降り始めるのは十八日(日)二十日にかけて、廿日(月)津田で36.9・5ミリ、広島市佐伯湯来で、287・5ミリを観測、記録的な大雨となりました。

広島市では、九月十八日に暴風警報、十九日に洪水警報が発令、十九日の5時20分には、太田川上流氾濫警戒情報(警戒レベル4)、11時10分には柳瀬地区に地域限定氾濫警戒情報(レベル4)が出され、十九日13時39分には、洪水緊急安全確保(警戒レベル5)が可部(大野、姫瀬)、龜山南、飯室、筒瀬、日浦に発信されています。

## 太田川が危ない!

広島土砂災害や、西日本豪雨で、可部の根の谷川の危険性が広く知られ、川幅を倍近く、堤防の大規模工事が終わったばかりのこの年、根の谷川は、確かに水位は上昇したものの、持ちこたえていました。ところが可部を流れるもうひとつの大河「太田川」が上流部の大雨、それに伴う温井ダムの放流等で増水し、一時は開院したばかりの広島市北部医療センターの下流部越水が想定されるなど、病院周辺の住民に避難の呼びかけがされ、騒然としました。

万が一太田川が氾濫、越水、堤防決壊と言う事態になれば、可部のまちは広い範囲で浸水し、真備町のようになってしまう可能性があります。あったのです。

「太田川は大丈夫。」と安心していませんでした。か、台風や大雨を侮ることなく、今後備えていくことを心にとめておきたいものです。

## 行ってみよう!地元のサロン

### 第5回 いきいきサロンなかよし会

いきいきサロンなかよし会は、平成21年から、上中4区5区の町内会長、民生委員児童委員、福祉委員で話し合いを重ね、翌年の平成22年に地域のサロンとして設立されました。毎月第2土曜日午前10時から、上中集会所で開催しています。

毎回、歌や踊り、フラワーアレンジメント、体操やゲーム、地域の方による昔話など、いろいろな方に来ていただいています。

結成当時から来ていただいている「工作おじさん」には、毎年12月に干支の工作をお願いし、今年で干支がひとまわりしました。工作おじさんの楽しい歌やトークは好評で、いつも笑いが絶えません。これからはずっと続けて来ていただきたいと思っています。

設立当初は、65歳以上のひとり暮らしの方のみの参加となっていたが、近年は、65歳以上なら誰でも参加できるように、昼間ひとりで過ごしている方なども、参加していただけるようになりました。参加者の中には102歳の方もおられ、毎回元気に来てもらっています。ご近所さんどうし声をかけ合いながら、

もっとたくさんの方に参加していただきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響で、開催できない時もありましたが、皆さんの再開してほしいという声に支えられて、少しずつ開催しています。以前のように、お茶を飲み、お菓子を食べながら、楽しくおしゃべりができる日がまた戻ってくることを楽しみにしています。

これからも、皆さんがお元気で、たくさんの方が参加していただけるサロンにしていきたいと思っています。



フラワーアレンジメント催しの様子です。

長年の地域福祉活動に感謝し、以下の方々が表彰されました。  
これからもよろしくお願ひいたします。  
(敬称略)

#### 令和4年度

広島市社会福祉協議会会長表彰  
社会福祉協議会関係功労者

(社協役員・評議員で、その功績が顕著な者。在職期間が10年以上の者)

延吉 光雄(可部地区社会福祉協議会代議員)

中村 克社(可部地区社会福祉協議会幹事)

#### 令和4年度

広島市安佐北区社会福祉協議会会長表彰  
地域福祉功労者

(社会福祉の振興に顕著な功績のあった地区社会福祉協議会の役員・評議員等で、在職期間が8年以上の者)

深川 康規(可部地区社会福祉協議会)

長谷川俊治(可部地区社会福祉協議会)

鈴木 達郎(可部地区社会福祉協議会)

生田祐次郎(可部地区社会福祉協議会)

加勢熊宏之(可部地区社会福祉協議会)

宮林 植子(可部地区社会福祉協議会)

桑原 十紀(可部地区社会福祉協議会)

寺岡香須美(可部地区社会福祉協議会)

池田 博巳(可部地区社会福祉協議会)

藤原 昭夫(可部地区社会福祉協議会)

深川 智子(可部地区社会福祉協議会)

迎川眞由利(可部地区社会福祉協議会)

## 今年度も 「ひまわりの会」に代えて 記念品が手渡されました



65歳以上のお一人暮らし高齢者の会「ひまわりの会」。可部地区社会福祉協議会では、毎年7月に会員の方をご招待して、「ひまわりの会」を福祉センターで開催、会食や講演、歌や踊りなどを楽しんでいただけてきました。しかしコロナ禍となり、大勢が集まる会を開催することができなくなり、やむなく令和二年度より、会に代わって、記念品を対象者お一人ずつ手渡しをしてきました。今年度も、未だコロナ感染が続いていることもあり、会の開催は断念、記念品を、地区の福祉委員、町内会・自治会役員、民生委員児童委員等の皆さんの手で十一月にお届けしました。

### お知らせ

従来、65歳以上お一人暮らし高齢者を対象としてきたひまわりの会事業ですが、今後お集まりいただくにしても皆さんをお呼びできる会場の確保が難しくなってきたこと、可部地区社協の財政を鑑み、来年度から対象者を「70歳以上のお一人暮らし高齢者」と変更させていただきます。どうぞご理解、ご協力をお願いいたしますと共に、お詫び申し上げます。

### どんなことでもまずはご相談ください。

相談内容は秘密厳守。あなたに一番近い場所、です。

『あなたとつくる みんなとつくる ささえあいのまち』

**可部地区社会福祉協議会  
社協活動活性化拠点  
始動しています!!**

日常生活での心配ごと!  
ひとりではやまなくて!  
なんでも相談して下さい!

区役所 厚生部 各種団体 包括支援センター

開催日 毎週 月・火・木曜日(祭日除く) 午前10時~12時  
場所 可部2階 2階  
住所 可部3丁目34-1  
電話 082-847-5509(上記開催日のみ対応)  
(りんりん可部と同じ電話です。拠点の担当者にお願ひしますと伝えて下さい。)  
※ 秘密厳守、相談事は一切第三者に漏れることはありませんので安心してご相談下さい

地域の皆さんへ  
誰でも気軽に立ち寄り、おしゃべりが出来る場所です。ぜひお立ち寄りください。

昨年の改選に伴い、今期の民生委員児童委員をご紹介します。  
詳しくはお住まいの町内会自治会にお問ひ合わせください。  
(敬称略、カッコ内は担当地区町内会・自治会)

勝田 和子(電北親和会)

栗栖つき江(九品寺)

田川貴志子(城表)

山門 真子(城裏)

深川 智子(上町、東原)

勝岡 綾(二丁目、上飯屋、吹屋川原、森の下、豊栄)

野瀬 幸人(三丁目、四丁目、可部駅前)

山口 礼子(上ヶ市、光善坊東)

秀浦 孝博(光善坊西、光善坊南)

石井美津江(藤の森、水主町)

天島しげ子(温泉ヶ丘)

池田 博巳(上中1・2区)

藤原 昭夫(上中3区パークヒルズ可部中央、中央、シャリオ可部中央)

平野 恵子(上中4・5区、パークヒルズ可部グランド、ステージ)

梅野 照幸(新築台、上原台、台土住、台中市住、台新)

中西 恵子(姫瀬、大野、中河内、勝木)

斉藤ひとみ(主任児童委員)

縄手紀久美(主任児童委員)

欠員1 (緑ヶ丘1・3区、中野住宅)

よろしくお願ひいたします。

# ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。

可部に暮らす高齢者や、障がいをお持ちの方、子育て真っ最中の方などを対象に、誰かの手がほしいな、ちょっと助けてほしいな、という時、頼りになる助っ人として駆けつけます。

植木の枝きり、草取り、不要品の処分のお手伝い、家具の移動、一般的なゴミ出し、窓ふき、電球の取り替え、などなど。どんなことでもまずはご相談ください。受付日時に、お電話、または可笑屋2階事務局まで、お気軽にお越しください。

**受付 毎週月曜日、火曜日、木曜日**  
月曜日 10:00~12:00  
火曜日・木曜日 10:00~12:00  
13:00~15:00  
祝日、盆休み、年末年始を除く

りんりん可部事務局  
☎ 082-847-5509  
FAX 082-815-0756  
住所 広島市安佐北区可部3丁目34-1  
可笑屋(かわらや)2階

## 編集委員のつぶやき

黒田 正

核兵器使用を口に出して脅迫する国。ミサイル発射で威嚇する国。軍事力を増強して国際社会に自国の優位さを誇示する国。挑戦的に不穏な動きをする国は、核兵器を使用した場合のリスクを認識しているのでしょうか。広島・長崎、核実験の被害、原発事故。そして予想されている「核の冬」。取り返しのでないことが起きる前に、核保有国の指導者は考えてほしい。

香川和子

先日コロナがまた増える前に、元の職場の数名と会った。話題は自分の病気、家族の病気・介護ばかり。やはりそういう歳なのだ実感した。わたしも昨年義母を、今年父を見送り、介護問題は終わったが、今度は自分の後始末のことを考えた。1人暮らしの人が孤独死を覚悟しているというので、せめて「救急医療情報キット」を用意して話し、本人はそれを知らなかったで、すぐに準備すると言ってくれて、よかったと思った。必要な人に必要なもの(情報)が届くことの大切さを感じた。せめて近隣とは話をするとかの近所づきあい大切さも、改めて感じた1日だった。

一川初子

研修で、広島県警察交通管理センターで話を聞きました。県内で交通事故で亡くなった歩行者の年齢と時間帯が、65歳以上が約75%を占め、夜が昼の2倍です。そして道路を横断する際に発生しているのです。信号のない横断歩道では、運転手に横断する意思を伝えるのに、手を上げる、顔を向けることが大切だと言われました。「紙面でつなく、あなたの交通安全エピソード」で、「信号機のない横断歩道があり、毎日数回渡ります。車が止まってくると、温かい気持ちになります。ハンドルを握って運転するとき、歩行者の気持ちを忘れずに気を付けています。」とありました。私も横断歩道で立っていると、車が停まってくれることがあります。頭を下げて渡ります。後期高齢者になったので、迷惑をかけないよう、1日1日を大切にします。

仁井美智子

「あ!!ありがとうございます。」テレビのCMの1コマの言葉でした。レジに並び、支払いを済ませようとしている年配の女性。スムーズに支払いができず、次の順番で待つ若い男性はイライラしている様

## 救急医療情報キット配布中!



救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでいる薬や、かかりつけの病院、持病の情報などを書いたシートを保管して迅速に対応してもらおうための「救急医療情報キット」を配布しています。  
地域の福祉委員、可笑屋、増井書店で取り扱います。  
1組150円(ボトル、カード、ステッカー)です。キットをお持ちの方でも、情報シートの書き換えをおすすめします。新しい用紙をお渡しします。ので、地域の福祉委員にご連絡ください。

## 真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財をいただき、感謝を申し上げます。

(令和4年8月1日~令和4年12月15日現在)

### 「米寿内祝い」

佐々木近雄 様 可部六丁目(緑ヶ丘2区)

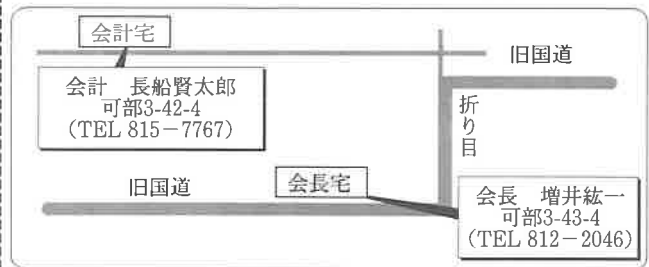
### 「ボランティアバンク作業謝礼」

山田 則明 様 可部六丁目(上中4区)  
藤木 房子 様 可部六丁目(緑ヶ丘3区)

### 「香典返し」

市岡トヨ子 様 可部六丁目(上中4区)

可部地区社協では、皆様からのご寄付を歓迎しております。寄付金は、可部地区社協会長宅にご持参、またはご連絡いただければお伺いいたします。よろしくお願いたします。



子。と想像したとたんに流れ出すラップ調の曲。「急がなくてもいいんだよ。落ち着いて支払いをしてください。」と、優しく思いやりのある曲で待ってくれるというCMです。女性の方は驚きの表情を見せながら、明るくラップの曲に乗り、感謝の気持ちを伝えます。

私自身も度々もたもた。迷惑をかけていると思い、自分にイライラしますが、このような場に出会うことができれば、素直に感謝を伝える私を想像したいと思います。お互いを思いやる大切さ痛感するCMです。

田川貴志子

さまざまな手続き、問い合わせ、情報収集手段がデジタル化して、スマホなしではかなり不便な世の中になってきました。何とかしようがんばる高齢者の方!がんばらなくてよくないですか。若い人に聞けば良いんですよ、知ってる人に! やってもらえばイツオーライ。何のための若い人ですか。聞けば教えてくれるし、やってくれるし。皆さんだって若い頃はそうしてきたでしょ。もしかしたらちょっとウザがられるかもしれませんが、にっこり笑顔で、お願いしまーすって。子どもや孫はそのためにいるんです。子どもや孫がいない人でも、役所のお兄さんお姉さんは優しいですよ。迷惑かけたくないかももうなしで。迷惑かけまくるのが人生だって、これまでの経験で存じて。若い人達、これからもよろしくお願いたします!